

日本学術会議
フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
海の学びカリキュラム小委員会（第 25 期・第 6 回）
議事要旨

日 時 令和 5 年 6 月 20 日（火）18:00～20:00

会 場 ビデオ会議にて開催

出 席（小委員会委員）日置 光久（連携会員）、氷見山 幸夫（連携会員）、小川 博久、小澤 鷹弥、小熊 幸子、里 浩彰、嵩倉 美帆、辻 健、丹羽 淑博、三井 寿哉、渡辺 径子
（オブザーバー）佐藤 達也、中村 亮

議題

1)はじめに

- ・日置委員長より、今回から新しく参加された委員の紹介がなされた。
- ・新委員の里浩彰氏、小熊幸子氏、三井寿哉氏、渡辺径子氏、それぞれから自己紹介がなされた。
- ・オブザーバー2名（佐藤達也氏、中村亮氏）それぞれから自己紹介がなされた。

2)報告（氷見山委員）＋質疑応答

- ・「8月20日フォーラムに向けて」と題し、フューチャー・アース推進と連携に関する委員会持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会の成り立ちについて報告がなされた。
- ・日本学術会議の中でフットワークが軽い組織である小委員会は、その良さを十分に活かし、ユースコメンテーターやポスター展示についても、速やかに準備を行うべく確認・議論がなされた。

3)話題提供（小熊委員）＋質疑応答

- ・「海洋教育と海洋リテラシー～国内外の事例紹介～」と題し、報告がなされた。
- ・小川委員より、スライド内の『温暖化に挑む海洋教育』について質問があった。
- ・氷見山委員より、過去と比較して海への関心度が低く、そして海とのかかわりが少なくなっていることについて言及があり、小熊委員より、陸域への関心度の偏りと、Ocean Blindness 等について応答がなされた。
- ・Ocean Blindness の話題から、水族館の歴史や博学連携について、日置委員長より言及がなされた。
- ・「博学連携」にかかわって嵩倉委員より、海洋教育研究会（7月28日開催）についての

告知がなされた。

4)その他

- ・日置委員長より、8月20日のフォーラムについて、できるだけ広く告知していただくようアナウンスがあった。